

ふくい経済トピックス（旅行関連消費編）

先日、平成 23 年の福井県観光客入込数（推計）が発表され、東日本大震災等の影響を受け、4 年ぶりに 1,000 万人を割り込む結果となりました。特に、宿泊客では平成 3 年の 395 万人をピークに減少を続け、昨年は 240 万人を下回る状況になっています。

では、全国的にはどうでしょうか。観光庁が発表する平成 22 年の国内の旅行消費額は 23.8 兆円で、前年に比べ 5.9% 減少しています。観光庁では、旅行回数の減少が影響していると分析しています。

ちなみに、平成 18 年には 30.1 兆円に上っていたので、5 年間に 26.5% も減少したことになります。

日本旅行業協会の資料によると、パッケージ旅行商品の低価格化とウェブサイト利用の活発化によって、交通費や宿泊費が安く抑えられたことも、旅行消費全体額を引き下げた要因と見ることができます。

<関連消費の 15% が旅行前>

観光庁では、旅行消費について試算し、平成 22 年の費目別消費額が発表されています。

表 1 平成 22 年の費目別旅行消費額(全国)

(単位:十億円)

費目	国内宿泊旅行		国内日帰り旅行		海外旅行のための		国民の旅行	
	消費額	割合	消費額	割合	消費額	割合	消費額	割合
国内旅行消費額 (旅行中+前後)	16,059	100.0%	5,078	100.0%	1,296	27.3%	22,433	86.7%
旅行前後支出	2,682	16.7%	971	19.1%	409	8.6%	4,062	15.7%
旅行前支出	2,526	15.7%	895	17.6%	385	8.1%	3,805	14.7%
旅行後支出	156	1.0%	76	1.5%	24	0.5%	256	1.0%
旅行中支出	13,378	83.3%	4,107	80.9%	887	18.7%	18,372	71.0%
旅行会社収入	265	1.7%	40	0.8%	162	3.4%	467	1.8%
交通費	4,911	30.6%	2,089	41.1%	614	13.0%	7,615	29.4%
宿泊費	3,340	20.8%	0	0.0%	10	0.2%	3,350	12.9%
宿泊費(別荘等)	407	2.5%	0	0.0%	0	0.0%	407	1.6%
飲食費	1,663	10.4%	569	11.2%	18	0.4%	2,249	8.7%
土産代、買物代	2,024	12.6%	926	18.2%	75	1.6%	3,025	11.7%
入場料、施設利用料	549	3.4%	414	8.2%	0	0.0%	963	3.7%
その他	218	1.4%	70	1.4%	8	0.2%	296	1.1%
海外旅行(海外支出)					3,445	72.7%	3,445	13.3%

国民の旅行（海外旅行を含む）市場は 25.9 兆円あり、その内訳をみると、「海外旅行の海外支出」は 13.3%、「国内交通費」は 29.4%、「国内宿泊費」12.9%、「土産代・買物代」

11.7%、「飲食費」8.7%となっていますが、案外高いのは「旅行前支出」の14.7%です。

例えば、旅行ガイドブックやカバン、洋服、靴等の購入といった直接旅行することとは、別の消費が生まれているということです。

つまり、日帰りであっても旅行に出かけようと思えば、いつもと違う洋服やカバンが欲しくなるということ。逆に言えば、旅行カバンを売るには旅行に行きたくなるような仕掛けが必要だということです。

<市場は125億円超>

具体的に、旅行前支出の金額を推計してみましょう。

観光庁では、平成24年1～3月の平均旅行単価を調査しています。これによると、国内宿泊旅行の平均単価は48,397円、日帰り観光旅行の平均単価は15,346円となっています。

これを基に、旅行前支出額を計算すると、宿泊旅行の場合は7,598円、日帰り旅行でも2,701円となります。平成23年4月～24年3月の全国観光旅行者延べ人数から福井県全体の市場を計算してみると、宿泊旅行の場合は約88億円、日帰り旅行でも約37億円の消費市場になると計算できます。

海外旅行の単価は出ていないので算出できませんでしたが、国内旅行だけでも125億円を超える市場であると言えます。

表2 国内旅行における旅行前支出市場

	単位	国内宿泊旅行	国内日帰り旅行
旅行単価	円	48,397	15,346
うち旅行前支出	円	7,598	2,701
年間延べ旅行者数(全国)	万人・回	19,263	23,112
福井県民の旅行者推計(人口割)	万人・回	116	139
福井県内の旅行前支出市場	万円	878,200	374,539

ちなみに、「飲食費」が8.7%という点を見ても、福井市内の飲食店の皆さんも、観光やビジネス旅行客向けのメニューや地場製品の紹介に取り組むことで、自店の売上を増やすことにつながることをお分かり頂けるのではないのでしょうか。

<海外に行きたくなるのは冬と夏>

では、旅行に出かけるのは、どの季節が多いのでしょうか。

福井県の観光客入込数調査(平成23年)で四季別の割合を見ると、「夏」が33.8%と最も高く、「秋」27.0%、「春」25.5%、「冬」13.7%となっています。

一方で、海外旅行についてみると、ちょっと雰囲気違ってきます。

通常、海外旅行の場合、パスポートの取得は旅行開始の1カ月前くらいになりますが、旅行準備のための消費も盛り上がる場所です。

そこで、月別のパスポートの発行状況を年代別に見てみると、面白いことがわかってきます。

これは全国の数値ですが、「19歳以下」は3月と6～8月が高く、春休みや夏休みを利用した旅行が多いということです。「20～29才」になると大学生が多いせいか1～2月の春休みが8月同様多くなっています。

30代から50代は共通して8月だけが飛びぬけて高くなり、11～12月は低くなっています。

60代を超えると大きな山がなくなり、冬場を除いてほぼ一定の状況になりますが、その中でも2～3月がちょっと高くなっています。

表3 平成23年一般旅券年代別・月別発行数(全国)

年代 月別	19才以下	20～29才	30～39才	40～49才	50～59才	60～69才	70才以上	計		福井県	
									割合		割合
1	55,701	101,003	58,317	43,873	42,500	40,937	15,402	357,733	9.03%	1,986	9.85%
2	61,882	88,650	53,362	45,034	42,602	43,908	17,609	353,047	8.91%	1,892	9.38%
3	103,469	62,868	59,052	47,370	41,701	40,909	17,064	372,433	9.40%	1,888	9.36%
4	57,325	48,940	52,796	37,708	34,462	33,916	13,577	278,724	7.04%	1,487	7.37%
5	55,656	55,080	57,250	43,551	39,679	36,528	14,415	302,159	7.63%	1,521	7.54%
6	84,527	64,211	60,416	50,903	43,099	36,044	14,736	353,936	8.93%	1,682	8.34%
7	95,326	76,338	61,141	52,781	43,394	33,036	13,060	375,076	9.47%	1,658	8.22%
8	115,244	103,024	76,081	55,231	54,412	42,191	15,598	461,781	11.66%	2,287	11.34%
9	39,136	68,899	59,941	43,206	42,317	39,013	15,808	308,320	7.78%	1,807	8.96%
10	38,317	59,795	53,616	41,139	37,645	34,104	13,596	278,212	7.02%	1,478	7.33%
11	44,925	57,060	48,314	38,043	32,712	27,419	11,189	259,662	6.55%	1,140	5.65%
12	48,672	66,471	44,847	34,436	30,257	25,560	10,056	260,299	6.57%	1,345	6.67%
計	800,180	852,339	685,133	533,275	484,780	433,565	172,110	3,961,382	100.00%	20,171	100.00%

※年代別に発行数の多い上位3つの月に色づけした

年代別の数値はありませんが、平成23年の福井県の発行状況を見ると、1～3月の山と8～9月の山が見られます。冬場は海外旅行のツアー代金も安くなり、海外に出かけたくなる要因なのかもしれません。

また、男女別のパスポート取得者の数を年代別に見てみると、30代、40代を除いて、女性の取得者の数が男性を大きく上回っています。特に、20代では女性が男性を25.4%も上回り、最近よく言われる「肉食系女子」が海外旅行の分野でも多いことがわかります。

では、このような行動をどう自店の売上につなげたらよいのでしょうか。モノ余りの時代ですから、何か心を動かされるような衝動を引き起こさないとモノを買わない状況になっています。商品を通して、それを着た時、使った時の体験が連想されるような提案が売り場でできているかチェックしてみてください。

(福井商工会議所所報 平成24年7月号掲載)